

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	金沢学院大学馬場先教授、金沢工業大学川村教授(欠席)、 金沢大学丸谷助教	令和3年2月18日	都市計画課	金沢市社会資本総合整備計画評価委員会設置要綱	
その他の委員	金沢経済同友会松原理事、金沢市町会連合会中川会長、 金沢市校下婦人会連絡協議会能木場会長(欠席)				

審議事項 1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	妥当である。 各指標の算出方法が一定期間の平均の場合と直近年の数値の場合がある。算出方法は一定である方がわかりやすいのではないか。
	成果の評価	妥当である。 歩行者通行量の増減は天候により左右され、また近年調査時期に台風が来ていることも承知している。
	実施過程の評価	妥当である。 中心市街地都市機能向上事業の具現化にかかる社会実験では、5年間柿木畠商店街とワーキングを開催し、今後のまちづくりについて議論や勉強を重ねてきており、そのプロセスを今後につなげるのが重要である。
	効果発現要因の整理	妥当である。 金澤町家の再生件数は補助件数であり、自費のみで改装している場合もある。今後、コーディネート件数なども把握できればより良い指標となる。
	事後評価原案の公表の妥当性	妥当である。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当である。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・まちなか定住のため、子育て世帯や子どもの居場所、遊び場づくりが必要となる。 ・まちなかは歩道が狭いため、積雪時に住民・観光客ともに歩きにくく、安全性も低下することから、歩道のロードヒーティング化等も検討してはどうか。 ・wifi環境の向上が望まれる。箇所によっては繋がりにくい場合がある。
	フォローアップ	妥当である。 令和2年度の数値は新型コロナウイルスの影響により特異な状況になっている可能性もあり、傾向を把握し、次年度以降の事業に活かしてほしい。
	その他	・新型コロナウイルスの影響で社会が大きく変容した。まちづくりの考え方も新しい社会に対応したものにしていく必要がある。 ・観光客よりも地元住民の暮らしやすさが重要であり、意識したまちづくりをしてほしい。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当である。
その他		